

りらく

行きたび好きになる
温泉とカフェにくつろぐ

川崎町

仙台市中心部から車を30分ほど走らせれば
蔵王のふもとの豊かな自然や
歴代仙台藩主に愛された温泉がある
近年この地に増えているのが、カフェ
古くから親しまれてきた風景を守りながら
新たな息吹をもたらししている



別冊
りらく

川崎町探訪編
2024

身も心も満たされる
カフェ巡り

個性的なカフェが点在する川崎町。カフェ巡りで「私のとっておき」を見つけよう。



川崎町の新たな定番をつくる
モダンなカフェ

右上/緑や花を見ながらリラックスできるガラス張りの明るい店内 右下/石窯で焼いたライ麦パン、自家栽培野菜を使った川崎町産たまごサンド(単品650円) 左/エスプレッソにホイップクリーム、チョコクッキーのコラボ「ツネナガシイク」(780円)

Ono de cafe

「地元の川崎町を今以上に盛り上げたい」と宍戸善和さんが会社員から転職、今年5月に国道286号沿いに開いたモダンなカフェ。入りやすく、親切な接客も幅広い年齢層に親しまれている。ブレンドコーヒーは川崎町が故郷の支倉常長をイメージした「Tsunenaga(ツネナガ)」、川崎町町花をイメージした「Syakunaga(シャクナゲ)」(各550円)、3色のクリーマソーダ、自家製レモネードなど、プラスαの工夫が光る。全品テイクアウト可能。

川崎町小野湯田36-1
火～金11:00～17:00 土・日10:00～17:00
(16:30以降はテイクアウトのみ) 月曜定休、不定休

懐かしい趣と

自家焙煎コーヒーの香りに包まれて

カフェマル

「緑を望むロケーションと旧支倉小学校を再生利用した建物を丸ごと使えることに可能性を感じ、昨年12月に仙台から移転しました。地場産野菜の直売、キャンプフィールドもあり1日遊べます」と話す、代表の井形憲太郎さん。理科室で毎日豆を焙煎するコーヒーは10種類から好みで選べる。食事は、野菜と鶏肉の旨味を凝縮した手づくりの無水カレーをベースに、トッピングや焼きカレーなども。芳ばしいオリジナルコーヒービーンズチョコも新発売。



上/「お客さまにマルをもらえる店」を目指す井形代表(左)とスタッフ 下/ノスタルジックな趣の店内。山を望むテラス席はペットOK

川崎町支倉塩沢9(イーレ!はせくら王国) TEL 0224-51-9131
月～金、日曜10:00～18:00、土曜10:00～21:00(L.O.20:00)
火曜定休



スパイスが香る「温野菜のせカレー」(970円)、苦みとココのバランスが絶妙な「マルブレンド」(Sは430円、Lは520円、食事と同時注文は80円引き)

kawauchi café

旧川内小学校の校舎を活用したアーバンスポーツ複合施設「ikutto(いくと)」併設。元オリリンピック選手(モーグル)の遠藤尚さんが、地域雇用、地域の憩いの場づくりを目指し2022年9月に開いた。酒蔵で使うおいしい地下水で淹れる本格ドリップコーヒーや、コーヒーを飲みながらコーヒーゼリーの食感が楽しめる「食べる本格コーヒー」の他、ランチ、米粉やおからを使ったデザートも。9月1日にはドッグパークがオープンするので、愛犬と訪れてみては。



右/旧職員室を改装した店内。オーナー手作りの家具も 左/ドッグパークを背に輝く笑顔の鈴木店長(右)と木皿さん



「昔ながらのナポリタン」(800円)、「ふわふわたまごサンド」(600円)、「本格コーヒーゼリー」(600円)、「オレンジジュース」(650円)

川崎町川内天神前257-1(旧川内小学校) TEL 0224-87-8727
10:00～17:00(L.O.16:30) 月・金曜定休



上/香りも味わう和紅茶「かわさき」(480円)、自家製あんこを使った「白玉クリームあんみつ」(650円)も食べごたえ十分 右下/家族で約1年かけてセルフリノベーションしたためくもりにあふれた店内 左下/山崎杏美さんと両親の仲の良さも心地いい

地域おこしに取り組んでいた山崎杏美さんが、川崎町で130年以上前に飲まれていたお茶を知り、おいしさを広めたいと一から学び、2023年4月に開店。地元のNPO法人の人たちと協力して町内の畑で茶葉を栽培し、自ら製茶を行う和紅茶「かわさき」をはじめ、農薬不使用または有機栽培の日本茶などが味わえる。「お花の香りやミルクィな香りなど、品種ごとに香りも味が違うのがお茶の面白さ」と話す。カレーなどのスパイス料理やデザートとも相性抜群だ。

川崎町前川裏丁81-1 TEL 090-8053-1223
木・金・土11:00～17:00 日～水曜定休



地産地消の食材を使い手づくりのおいしさにこだわったランチ「たけし豚のミートボールトマト煮込み夏野菜のマリネ添え」(1,600円)

生産者の思いを伝える
スペシャルティコーヒー

「産地や生産者の思い、努力をお客さまに伝える仲介役」として、スペシャルティコーヒーを提供する栗谷将晴さん。自家焙煎したコーヒー豆で、豊かな風味を引き出した一杯を淹れてくれる。カフェを開業する人や開業歴の浅い人を応援し、業界の発展に尽力する栗谷さんの夢は「田舎から世界最高峰へ」。コーヒー業界のミシランガイドといわれるティピカガイドで2年連続1つ星の荣誉も「仙台から川崎町に移り、農家のみなさんとふれあい、生産者の苦労を知ることが大きい」と話す。



上/栗谷将晴さんと妻の愛さん 下/空き家をセルフリノベーションした趣ある店内

川崎町川内佐山11-1
TEL 0224-88-9019
月・木・金10:00～17:00
土・日12:00～17:00
ランチ 土・日・月12:00～14:00 ※限定6食
火・水曜定休

森の緑を眺め逸品を味わう日本茶カフェ

しずく茶

静岡県出身の早川達子さんが「子ども頃から慣れ親しんでいたおいしい日本茶を飲みたい」と、昨年5月に開いた週末日本茶カフェ。静岡、京都、佐賀県からその時期にいい、おすすめの茶葉を仕入れ提供。「飲み比べセット(冷・温)」を五感で味わい、好みのお茶を探すのも楽しい。和菓子や甘味、お茶漬けも心に染み入る癒しの味だ。富士山の水を鉄瓶で沸かし丁寧に淹れたお茶を、四季折々の景色を目前に、時間を忘れてゆっくり楽しんで。



緑に囲まれた静かな店内で癒しの時間を



日替わり3種の「飲み比べセット(冷)」と老舗菓子店に特注した最中(選べるお菓子付き1,000円)



ボリューム満点の「抹茶碗パフェ」(800円)
川崎町前川手代塚山2-18
TEL 0224-87-8438
土曜11:00～18:00(L.O.17:30)
日曜10:00～17:00(L.O.16:30)
月・火・水・木・金曜定休
※平日は予約のみで営業(2名以上)



川崎町 日帰り温泉

観光中の休憩に一風呂浴びるのも楽しい。
温泉街には足湯もあるので気軽に利用しよう。



「じゃっぼの湯」

青根温泉中心部に、2006年に地元・川崎町産の無垢材だけを使って建てられた共同浴場。脱衣所や内湯には清潔感が漂う。「じゃっぼ」とは、幼児語でお風呂のこと。青根温泉に湧く6つの源泉をブレンドした源泉100%掛け流しの温泉で、泉質は弱アルカリ単純泉。内湯は天井が高く開放的で、木のぬくもりに包まれ、窓から緑を眺めながら温泉につかれば、身体の芯から温まりリフレッシュできる。



川崎町青根温泉9-1 TEL 0224-87-2188
7:00～21:00(20:30受付終了)、年中無休(臨時休業あり)
大人(中学生以上)400円、小人(小学生以上)200円 ※未就学児無料
タオル300円

浴室にはボディソープ、リンスインシャンプー、脱衣所にはドライヤーが完備され、広い駐車場もあるので、観光の休憩など、タオルがあれば気軽に立ち寄れる(タオルの販売も)。駐車場からは、晴れた日は遠く金華山まで望むことができるのも魅力だ。向かいには明治末期に建てられた宣教師の邸宅「青根洋館」があり、1階が観光案内所、2階が古賀政男資料館となっている。



朝日の湯



駐車場の湯



「駐車場の湯・朝日の湯」

青根温泉にある、源泉が異なる2カ所の足湯。国道沿いに、バスの終点の停留所の車庫を活かして足湯の建物にしたのが「駐車場の湯」。川崎町産の無垢材を使用した全木造りの建物に浴槽がある。ややぬるめの湯にのんびりとつかれば、日々の疲れが取れ、癒されていく。

一方、「朝日の湯」は坂を上った高台にあり、朝日が見えることから名づけられた。目の前に広がる四季折々の景色を眺めながら、足湯を楽しめる。青根温泉の湯はほとんどが無色透明だが、「朝日の湯」はほんのり茶褐色だ。いずれも利用は無料。「じゃっぼの湯」の駐車場に車を停めて、散策がてらのんびりと足湯めぐりを楽しみたい。

問合せ/じゃっぼの湯 TEL 0224-87-2188
駐車場の湯 川崎町青根温泉2-9 8:00～17:00 無休
朝日の湯 川崎町前川青根温泉4-5 8:00～17:00 無休



名号 Hygge

名旅館を改装した 築150年の建物と温泉

湯治場としてかつて賑わった明治創業の温泉旅館「名号館」の築150年の建物を改装し、今年7月にリニューアルオープン。館色の天井や柱、家具、調度品などに大正、昭和初期のレトロな雰囲気が漂う。カフェと陶器の店に加えて、敷地内にはお湯の神社と源泉かけ流しの貸切温泉(日帰り入浴)が2つある。温泉につかり、飲食をのんびり楽しんだり、充実した時間を過ごせるため、ワーケーションに利用する方もいるそうだ。

上/歴史が刻まれたノスタルジックな店内
右/川崎町にあるアトリエ「kijin」の作品をはじめ各地の作家の陶器を販売



季節の野菜を使ったカレーの一例の「夏野菜とココナツのカレーライス」(850円)、おすすめのノンアルコールのシャンパン(750円)

川崎町青根温泉4-4 TEL 0224-86-4553
木・金・土・日11:00～21:00 月・火・水曜日定休



川崎町川内朴木山1-1
TEL 090-7832-0833
10:30～16:30 水・木曜日定休
※定休日でも2名以上は予約可
(11:00～15:00、ランチのみ)

Garden café Sora

料理や読書が好きな藤原美喜子さんが「退職後の自分の居場所がほしい」と2021年に開いたカフェ。外にはご主人が育てた花や子どもが遊べる砂場、芝生のある庭が広がる。時間をかけ一から丁寧に手づくりした料理とお菓子を味わいゆっくり過ごせば、お腹も心も満たされる。煮物など数品の惣菜が付いたランチの一例(写真右)を見ても、栄養バランスが良くボリュームがあり、リーズナブルで、定期的に通うファンがいるのも納得。



「ピザAランチ(ツナ&コーン)」は選べるドリンクなどが付いたリーズナブルなセット(1,200円)

「ぱびハウス川崎店」

「川崎町の依頼で就労者支援の一環として2010年1月に開店しました。障がいをもつスタッフがメインですが、しっかりと対応しています」と話すのは、佐藤勝也店長。石窯で焼き上げるピザは、表面はパリッと、中は柔らかくモチモチした食感で噛むほどに甘い。単品もあるが、サラダとドリンクと日替わりデザートが付いたランチセットがおすすめ(ピザは3種、パスタは7種から選べる)。国産小麦粉を使った50種以上の焼きたてパンは、毎日売り切れになるほどの人気だ。



右/天井が高く明るい店内にはテーブルのほか小上がりも。外のテラス席はペット対応可 左/熟練者がイタリア製の石窯で香ばしく焼き上げる

川崎町前川北原22-9 TEL 0224-85-1656
11:00～16:00(L.O.15:30) ※パンの販売は9:00～売り切れ次第終了
土・日曜・祝日定休



上/「塩麹漬け豚ロースのソテーランチ」(1,000円)
左上/ドリンク&手づくりスイーツが楽しめる「アフタヌーンセット」(800円)。右手前は「チーズケーキ」(単品400円)
左下/2021年にオープンしたくつろげるカフェ。少人数の集まりに使えるロフトも

川崎町ふるさと納税



伯楽星 特別純米・純米吟醸
720ml × 各1本

寄付金額 15,000円

「究極の食中酒」をコンセプトに作り上げた銘柄の、特約店限定販売の「伯楽星」2種セット。特別純米酒は、キレがありながら柔らかさも兼ね備えたバランスのとれた一本。純米吟醸酒は、伯楽星らしさが一番表現されており、料理の味をより引き立たせる。それぞれ飲み比べてみては。



2・3月限定

ARABAKI ROCK FEST. 入場券

寄付金額 50,000円～

みちのくの春を彩る、東北最大級の野外音楽フェス。みちのく公園北地区エコキャンプみちのくに豪華アーティストらが集結、夢のコラボステージは必見。



5～7月限定

川崎レイクサイドマラソン
ハーフコース (1名分)

寄付金額 14,000円



いちご もういっこ
250g × 2パック

寄付金額 10,000円



仙台牛カルビ焼肉用
400g (3～4人前)

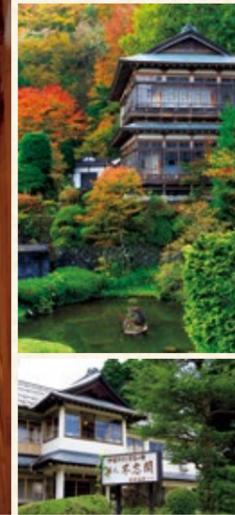
寄付金額 23,000円



峩々温泉 2名一室 2食付き宿泊プラン

寄付金額 150,000円～

蔵王の中腹に佇む一軒宿で、日本三大胃腸病の名湯のひとつ。雄大な自然を望む3つの露天風呂、源泉かけ流しの温泉、おいしい食事でパワーを蓄えて。



右上/荘厳で美しい桃山様式が往時を物語る。紅葉の時期は特に見事な一幅の絵のよう 右下/伊達家ゆかりの宿。伊達公関連の遺品は希望すれば所定の時間に見学可能(宿泊者限定) 左/明治初期から伝わる土蔵内の「蔵湯浴司」はヒノキの香りが漂う癒しの空間

川崎町 宿泊温泉施設

青根温泉郷

不忘閣

約470年前に伊達政宗公が滞在し「この地忘れまじ(不忘)」と名づけた由緒ある湯宿で、歴代の伊達藩主や名だたる文豪が訪れた。温泉は土蔵内にある「蔵湯浴司」や、木造建築と土、石が調和した「大湯 金泉堂」、半露天風呂の隠れ湯「亥之輔の湯」など、バラエティ豊かな6種。入浴後は、地元の素材をふんだんに取り入れた純和風会席料理に舌鼓。本館をはじめ、離れ、門などが国の登録有形文化財に指定され、伊達家関連の貴重な骨董も数多く残る。

川崎町青根温泉1-1 TEL 0224-87-2011
1泊2食付 19,600円～(2名様1室利用時) ※入浴税150円別

青根温泉郷

お宿はなぶさ



2020年11月にグランドオープン。館内には日本庭園を眺められる大浴場と開放的な露天風呂、男女別のサウナがあり、さらに姉妹館「流涎」の温泉も利用できる。
ラウンジスペースにはマッサージチェアも完備(無料)。わたあめを作ることもでき、子どもはもちろん大人も童心にかえって楽しめる。オールインクルーシブ方式で、ドリンクや菓子など追加料金がかからないのも嬉しい。夕食はメイン料理を魚、肉料理から選べるハーフビュッフェスタイルだ。昨年4月にオープンした「HANA BUSA DOGLamping」は、愛犬と一緒に宿泊できるグランピング施設。プライベートドッグランで愛犬をノーリード・ノーストレスで自由に遊ばせながら、BBQを満喫できる。

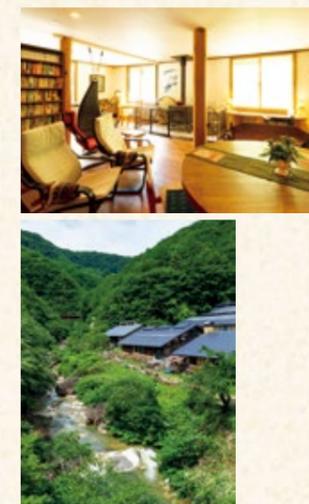
上/季節ごとに美しい庭を目の前に眺めながら温泉に浸れば、日ごろの疲れも吹き飛ばす 右/山を借景に静かに佇む落ち着いた純和風の宿
左/客室はスイートのほか、和室、フローリングタイプの13室

川崎町青根温泉7-5 TEL 0224-87-2411
1泊2食付 19,860円～(2名様1室利用時)



峩々温泉郷

峩々温泉



蔵王山の中腹にぽつんと佇む一軒宿の秘湯。明治初期から受け継がれる温泉は100%源泉かけ流しで、日本三大胃腸病の名湯ともいわれる。「あつ湯」と「ぬる湯」がある大浴場、3つの露天風呂があり、峩々温泉伝統の「かけ湯」「飲泉」「入浴」の3つの入浴方法での湯治がおすすめ。客室は、温泉風呂付きの客室から連泊目的のワンルームタイプまで目的に応じて選べる。電波はほぼ圏外の環境で、自然と向き合い、ここにしかない時間に身をまかせてみては。

右/蔵王の山を望み、川のせせらぎや鳥の声を耳を澄ませてつかえる露天風呂は格別 左上/新ストーブや本を備えたラウンジ。テレビがなくスマホの通知もこない所でどう楽しむかは自分次第 左下/豊かな緑と「峩々たる峩々」に抱かれた静かな秘湯

川崎町大字前川字峩々1 TEL 0224-87-2021
1泊2食付 17,600円～(2名様1室利用時)





ゴルフ場利用券

寄付金額 55,000円～



クラフトビール飲み比べ 6本セット
330ml × 各1本

寄付金額 13,000円



宮城県川崎町産
ひとめぼれ (精米) 10kg

寄付金額 15,000円

申込方法

インターネット

- 1 右の二次元コードから、ふるさと納税各Webサイトにアクセスし、寄附額と希望する返礼品を選択。
- 2 サイトの手順に沿って、寄附者情報等を入力して、申込完了。

川崎町ホームページ
「ふるさと納税寄付金」
ページはこちら▶



電話

- 1 川崎町ふるさと納税 お問合せセンター TEL 0120-300-567 (受付時間 平日8:30～17:30) に「川崎町ふるさと納税」の申込である旨を伝える。
- 2 必要書類が届いたら、案内に沿って手続きを進める。
[送付書類]・申込書・返礼品カタログ・払込取扱票(郵便振替) ※郵便振替の場合、返礼品の発送は入金を確認できてから。

※返礼品とは別に「寄附金受領証明書」「ワンストップ特例申請書(希望者のみ)」が届く。
確定申告またはワンストップ特例申請を行うと、所得税や住民税の還付や控除を受けることができる。

川崎町役場 TEL 0224-84-2117 (地域振興課直通) E-mail kawahuru@town.kawasaki.miyagi.jp 住所 宮城県柴田郡川崎町前川裏丁175-1



山形と仙台を結ぶ「川崎町」マップ

山形市 ← 車30分 川崎町 ← 車30分 仙台市

